

使い方

- まず自分で考えてみましょう
- どうしても分からないときだけ、ヒントを見ましょう
- ヒントを見たら、もう一度自分で考えましょう

Q2 のヒント（漢字の書き）

アプローチ:

- 同じ音の漢字がいくつかある場合、文脈で判断します
- 部首や画数に注意して書きましょう

キーワード: 同音異義語、正確な書き順

Q3 のヒント（物語文：心情理解）

アプローチ:

「ぼく」が公園にいる理由を考えましょう。学校で何があったか、文章から読み取ります。

キーワード: 太郎との関係、冷たい態度

Q4 のヒント（物語文：気持ちの変化）

アプローチ:

花子さんの言葉の前と後で、「ぼく」の考え方がどう変わったかに注目しましょう。

キーワード: 太郎の立場、事情があるかもしれない

Q5 のヒント（物語文：記述問題）

アプローチ:

- 「心が軽くなった」理由を文章から探します
- 「決めると」の部分に注目しましょう
- 40字以内でまとめます

キーワード: 明日太郎と話す、決意

Q6 のヒント（物語文:表現技法）

アプローチ:

- 比喩：～のような、～みたい
- 擬人法：人間でないものを人間のように表現
- 対比：2つのものを比べる
- 反復：同じ言葉や表現を繰り返す

文章の中でどの技法が使われているか探しましょう。

Q7 のヒント（説明文：要旨理解）

アプローチ:

筆者が一番言いたいことは何か、全体を通して考えます。

最初と最後の段落に注目しましょう。

キーワード: 言葉の力、選び方、影響

Q8 のヒント（説明文：記述問題）

アプローチ:

- 第4段落に理由が書かれています
- 「頑張れ」と「あなたならできる」の違いを説明します
- 50字以内でまとめます

キーワード: 命令的、能力を信じる、自信

Q9 のヒント（説明文：論理構成）

アプローチ:

文章の流れを確認します。

- 最初に何が述べられているか
- 次に何が続くか
- 最後にどうまとめられているか

キーワード: 主張、具体例、まとめ

Q10 のヒント（言語知識：慣用句・ことわざ）

アプローチ:

それぞれの慣用句・ことわざの意味を知識として覚えましょう。

ヒント:

- (1) 「猫の手も借りたい」：とても忙しいときの表現
- (2) 「石橋を叩いて渡る」：念には念を入れる、慎重な様子
- (3) 「灯台下暗し」：身近なことほど気づきにくい

キーワード: 慣用句、比喩的表現

一般的なアドバイス

- 読解問題は文章をよく読んで、答えの根拠を見つけましょう
- 記述問題は字数制限に気をつけましょう
- 選択問題は消去法も使えます
- わからない問題は飛ばして、後で戻りましょう
- 漢字は丁寧に書きましょう